

## スクリーン印刷における文字の再現性

水野金儀<sup>\*1</sup>

Reproductive Features of Character on Screen Printing

Kaneyoshi MIZUNO

文字の大きさ、複雑さ、書体の異なるテストパターンを作成し、製版条件や印刷条件等による文字の再現性に及ぼす影響を調べるとともに、どの程度の小さな文字まで再現可能か検討した結果、次の知見を得た。

1. 300 メッシュ、15 $\mu$ m の直間法フィルムによる製版では、ノーマル張りよりバイアス張り（22.5°）の方が細かい画線まで再現できた。
2. 紗に対する印刷方向角度による印刷物の再現性は、目視による比較では大きな差は見られなかった。しかし、拡大鏡による観察では、ノーマル張りの0°で画線の部分的な「欠け」が発生し易く、バイアス張りの0°で滲みによる「ギザ」が発生し易い傾向が認められた。
3. インキの粘度を製版、印刷条件に適した範囲に調整することにより、(2)の現象の防止が可能である。
4. 今回の製版、印刷条件においては、細ゴチでは12級程度、中ゴチでは「量」程度の複雑さの文字で10級程度、明朝では14級程度が良好に再現できた。

---

<sup>\*1</sup> 応用材料部